

町政懇談会 会議録

1. 開催日時

平成23年9月27日（火） 午前10時00分～正午

2. 対象地区・団体

端村自治区

3. 代表者名

端村自治区長 加藤浩一（参加者数：46名）

4. 開催会場

端村集会所

5. 町出席者

町長 伊藤 勝・副町長 和田正孝・町民税務課長 成田信幸・建設水道課長 酒井誠明

企画情報課長 杉原徳夫・同課長補佐 渡部英樹

6. 事前協議事項

① 町民バスの尾登地区運行について

（自治区長） 野沢尾野本循環線の運行コースに尾登地区を加えて欲しい。

（町民税務課長） 現行計画からいえば、一日2往復運行されているスクールバスへの混乗を有効に活用してほしい。各地区から同様の要望が出されているが、これらに対しては限られた車両数や乗務員の勤務体系などを考慮しながら、平成24年の小学校統合に伴うスクールバス及び町民バス運行計画の全面見直しを機会に検討を加えていきたい。

② 町道寺の上線・寺の上支線の改良について

（自治区長） 本路線は幅員も狭く急勾配なため、除雪車も入れない。緊急時などにも支障があるため道路改良をお願いしたい。

（建設水道課長） 従来、集落内の道路拡幅工事は国庫補助が受けられず実施が困難であった。しかし、予算が交付金という制度に変わり集落内道路にも活用できるようになったことから、平成20年度より順次計画している。多くの要望が寄せられていることや、道路整備は多額の経費が必要なことから町の実施計画に盛り込みながら、本路線についてもできるだけ早期に取り組みたい。

③ 町道茗荷沢東線・茗荷沢西線の整備について

（自治区長） 両路線の全面舗装をお願いしたい。当面の措置として、土砂流出が繰り返し発生する箇所を優先してお願いしたい。

(建設水道課長) 道路の改良舗装工事は住宅のあるところを優先して実施している。本路線は農道としての要素が強いことから町事業で実施することは難しい。今後も農地・水・環境保全対策事業などを活用し、事業実施を検討願いたい。

7. 意見交換

(意見) 町民バスの尾登地区への乗り入れは、何とかお願いしたい。運行コースのうち、松尾地区と上小島地区との間に組み入れてもらえないか。そんなに時間を要しないのではと思う。JR利用も使い勝手が悪い。

(町長) バス車両が線路下を通過することが可能であるのか。また、希望する時間帯に組み入れた場合15分程度加算されることになるが、その後の運行計画に支障があるのかなどを確認し報告したい。可能であれば、新たな運行計画において実施していきたい。

(自治区長) ニホンカモシカは特別扱いになってしまうとのことであるが、本当に困っている。ツキノワグマどころではないのだが。

(農林振興課長) 自分の地区でも同様である。これまでニホンザルによる農作物の被害調査を行ってきたが、今回はツキノワグマなどを含めた全般的な調査を行うこととしている。その結果を踏まえ、今後の要望活動を行っていききたい。速やかな対応は難しいことも理解願いたい。

(意見) 小学校統合についてであるが、今後の児童数の推移はどのような見込みなのか。新たな校舎建設も必要なのだろうか。

(企画情報課長) 概ね30人学級として各学年2クラスとなる見込みであり、しばらくはそのような状態が続くものと思われる。それしかなくなってしまったという状況ともいえるが、これまでの検討においては現在の中学校の脇に新しい校舎を建設していこうという考えである。統合は平成24年4月としているので、この作業において新たなスクールバスの運行と合わせ、町民バスの運行計画も見直されていくことになる。

(意見) JR野沢駅の跨線橋について伺いたい。高齢者には階段の上り下りがきついで、渡らずにホームに乗り入れることはできないか。

(町長) 私も何とかならないかと気になっていたことである。場所によっては自治体が安全性を確保することを前提に、踏切のような遮断機などを利用して利用者の負担軽減をしている事例もあるとのことである。これまで安全管理を誰の責任で行うかということで解決策が見いだせなかったが、今後そのような例を調査しながら十分に検討していきたい。